

2.4 課題研究

(1) 研究開発の課題（概要）

学校設定科目「スーパーサイエンス概論」の一環として、生徒各々に興味関心のある分野に関する課題を設定させ、夏季休業中を利用して、深く調査・探究し、調べたことや自分の意見等をレポートとしてまとめさせるものである。課題のテーマは、生徒の課題研究への取組やすさを考慮し、自然科学のみならず、社会科学、生活科学、人文科学等なども可とし、SSH 企画ではあるが科学関連の内容に限定しなかった。

さらに、今年度は2学期の SSH の授業内で全員に発表させる機会を設け、その中から優秀なレポートをピックアップし、1年生普通科全員の前で発表させるという方法をとった。

(2) 仮説（ねらい、目標）

上記の作業を通して、課題設定・調査研究方法・報告及び発表等の「スキル」の育成を図る。また「自ら学ぶ」姿勢を涵養する契機として位置づけることを目指す。

(3) 課題研究の流れおよび内容・方法

ア 本研究の概要について説明し、1学期中にテーマを決定させ、集約する。

イ 「SSH 国語」および「現代社会」などの授業を通して、研究方法・レポート作成について指導を受ける。

ウ 1学期末及び夏季休業中の出校日に、テーマ登録・中間報告を提出させる。そして夏季休業中での研究成果を、2学期の初めにレポートにて提出させる。

エ 9月下旬から10月上旬の「SSH 理科」の授業内で、6～7名ごとのグループ内で1人5分の持ち時間にて発表させ、生徒間での相互評価をさせる。



クラス内発表風景

オ 生徒間の相互評価及び SSH 担当者の評価をもとに、学年全体で優秀作品を選出し、発表の可否について本人に確認する。

カ 冬季休業中を利用し、パワーポイントでプレゼンテーション資料を作成させる。（自宅等でできない生徒には、学校のパソコンを利用させる。）

キ 3学期末の授業時間を利用し、1年普通科生徒に対し発表会を行う。発表会は、一斉に発表を聞くスタイルとし、聞く生徒には記録をとらせる。

(4) 全体発表会

ア 実施日時・場所

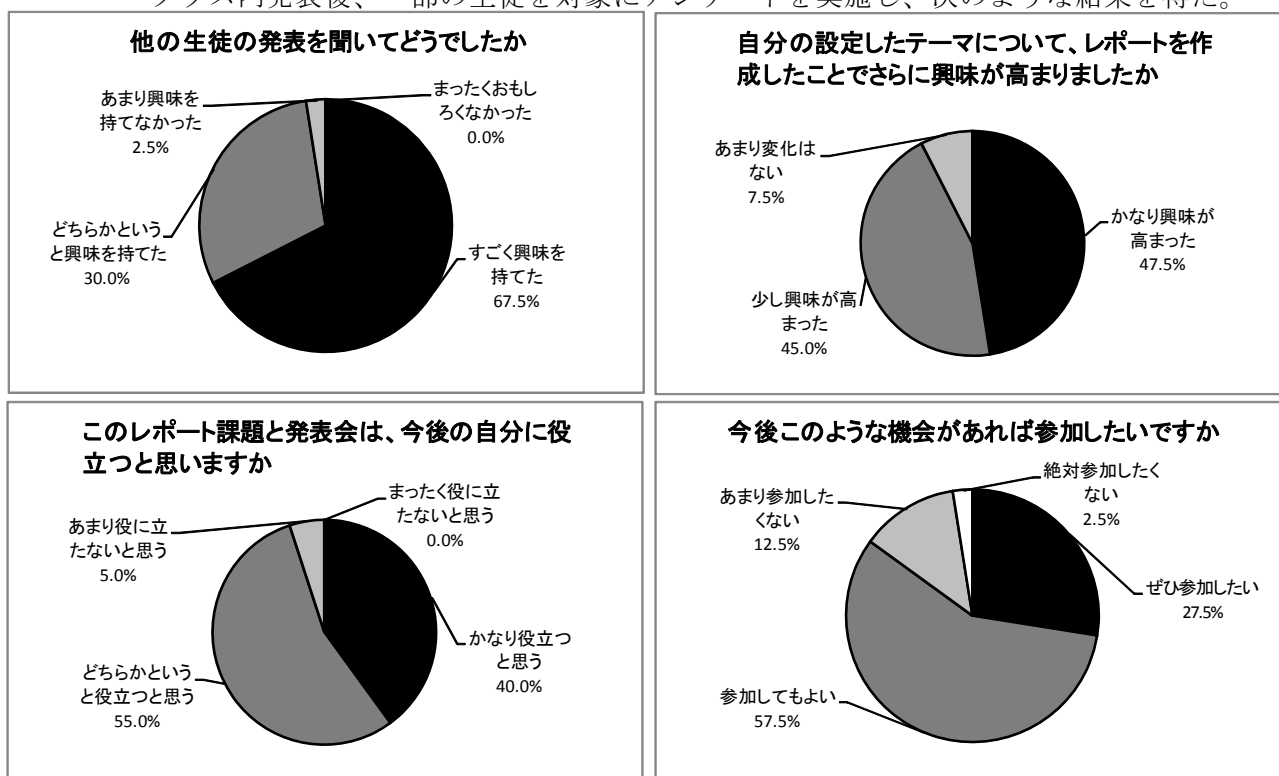
平成23年3月14日（月）第4限 本校 第1体育館

イ 実施内容

生徒・テーマによるプレゼンテーションを行う。

(5) 検証（成果と反省）

クラス内発表後、一部の生徒を対象にアンケートを実施し、次のような結果を得た。



この結果に見られるように、多くの生徒はこの課題研究全体を通して肯定的に捉えており、生徒の意識・意欲の高揚にも効果的であったことがうかがえる。

今後の課題としては、まだ一部の生徒で参考文献やホームページの内容を機械的に写しただけで理解できていない状態で発表に臨むなど、消極的であるだけでなく著作権の問題にも抵触しかねないものが見受けられた。来年度以降、この課題研究の目的・意義の伝え方をさらに研究し、より効果の上がる指導法を確立していくことが課題であると思われる。



全体発表会の様子